

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

地域優良住宅「収納上手な家」

グループの名称

近畿すまい守りネットワーク

直近採択グループ番号

06-0422-0597

(グループ代表者)

代表者名	田原 稔久	代表者印
代表者所属先	田原建設株式会社	
代表者所在地	大阪府枚方市南楠葉1-14-14	
代表者電話番号	0745-55-7656	

(グループ事務局)

事務局事業者名	田原建設株式会社	
事務局担当者名	森本 珠美	印
事務局郵便番号	573-1105	
事務局所在地	大阪府枚方市南楠葉1-14-14	
事務局電話番号	072-851-7500	
事務局FAX	072-851-1178	
事務局担当者E-mail	info@tk-k.co.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	地域優良住宅「収納上手な家」
2. グループの名称(必須)	近畿すまい守りネットワーク
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0422-0597
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	近畿地方
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	田原 稔久
7. グループ代表者の所属先(必須)	田原建設株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	大阪府枚方市南楠葉1-14-14
9. グループ代表者電話番号(必須)	0745-55-7656
10. グループ事務局事業者名(必須)	田原建設株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	森本 珠美
12. グループ事務局郵便番号(必須)	573-1105
13. グループ事務局所在地(必須)	大阪府枚方市南楠葉1-14-14
14. グループ事務局電話番号(必須)	072-851-7500
15. グループ事務局FAX番号(必須)	072-851-1178
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@tk-k.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	6	
V. 設計	3	
VI. 施工	5	/
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPCC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input checked="" type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッド法に基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材		3	国内	
		外材		3	国外	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		2	国内	
		外材		2	国外	
		国産材		2	国内	
		国産材		4	国内	
		外材		4	国外	
	あかね材	三重県	あかね材認証制度	1	国内	
	三重の木	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内	
	京都府産木材	京都府	京都府産木材認証制度	1	国内	
おおさか材	大阪府	おおさか材認証制度	1	国内		
兵庫県産木材	兵庫県	兵庫県産木材認証制度	1	国内		
奈良県産材	奈良県	奈良県産材認証制度	1	国内		
紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内		
おかやまの木	岡山県	おかやまの木で家づくり推進事業	1	国内		
広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内		

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
配分が決定した時点で、交付申請が行える物件数の調査を行います。 基本的に平等配分とするが、申請見込みがない場合は、交付申請が行える事業者へ配分する。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	















<グループ構成員記入用リスト>VI. 施工-2 (長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月～12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27～H29)			被災地 に該当	ZEHビ ルダ ーに 該当	BELS工 務店に 該当														
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅																	
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均																				
VI	施工-2			26	VI - 19	76691	株式会社大栄建設	23	戸	24	戸	1	戸	1	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
30	VI - 22	78262	株式会社前川組	1	戸	2	戸	1	戸	1	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○			
26	VI - 23	76716	公正産業株式会社	1	戸	1	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下					
27	VI - 24	77384	田原建設株式会社	10	戸	10	戸	7	戸	9	戸	2	戸	1	戸	0	戸	1	戸	0	戸	1	戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○			
30	VI - 25	78253	株式会社高垣工務店	20	戸	20	戸	3	戸	3	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	0	戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○			
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									
VI	-				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡									





1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「収納上手な家」	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地方
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 近畿すまい守りネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0422-0597	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	年間を通して温暖で、特に夏場は蒸し暑く、都市部についてはヒートアイランドによる熱帯夜も多いことから、特に断熱性、省エネ性を重視する住宅にしなければいけない。 (断熱等性能等級4を基準とする。) ゼロエネルギー住宅においてはBELSの認定を取得する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	蒸し暑さを緩和に配慮した住宅を建てる。 都市部では耐震性能等級3相当を確保した住宅とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◎外部建具だけでなく、内部建具による通風配慮を取り入れる(南北・東西開口確保、もしくは欄間付建具の採用) ◎日照時間の長い開口部に日除けもしくはLOW-Eガラスを採用する ◎1階の主要開口部には、軒下空間が確保できる配慮をする。(難しい場合は日除けや外構部材に対応する) ◎外壁材の色調を明るい色合いにして、遮熱効果を高める ◎収納率10%以上(建物床面積に対して)の住宅にする。 上記5項目中2項目を必達とする。	◎
④①～③の背景	近畿地方は台風の通過が多く、毎年多くの台風被害が発生している地域といえる。 また、瀬戸内海気候に属し年間を通して温暖であり、近年は、夏場におけるヒートアイランド現象が問題となっている。 熱帯夜の多さは本州の中で一・二を争う。古くから続く家が多く残っているため、新たに建てる建物においても、従前の家からの物品を収納するスペースの確保が必要となる。 都市部に属する地域に関しては中古住宅の流通も活発である。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 共同仕入によるコストダウンを行う。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で「収納上手の家」の標準仕様書を作成し、グループ各社が説明できる環境を整える。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材の単価高騰に対応できるよう、グループで購入先を選定、共同購入の体制を整備する。今回收利用する地域材の見積書を提出し、グループ内で共有し、良いものを広める活動をする。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 各構成員に選任担当者を置く。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ事務局は上記報告を取り纏め、各構成員に共有を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 断熱等性能等級4、耐震等級2以上とする。 施工基準の証明として、お客様の要望があれば住宅性能評価の取得をする。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅の施工基準とする。 お客様からの要望があれば住宅性能評価書を取得する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 第三者機関による検査を実施する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: お客様に対して、明瞭で迅速な価格情報の提供ができる環境を整備する。原価管理とは別に、営業見積のルール化をはかる。具体的には、手間と材料費をトータルで表示できる見積システムを採用する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	■ ない □ ある → 内容:	
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: 働き方・休み方改善指標を確認する。労働時間や休暇取得の実態や、これに関連する自社の取組や制度を再確認するための指標であり、今後の対策を検討する際に活用することを目的に作成する	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 資格取得者へ表彰する取組を行う	◎
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 正社員の社会保険の加入。社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインを活用する	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 年間1度の定期的な健康診断及び長時間の労働により疲労の蓄積が認められる労働者に対し、その者の申出により医師による面接指導を行う	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「収納上手な家」	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地方
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 近畿すまい守りネットワーク	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0422-0597	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅履歴情報の蓄積	◎
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	◎
	② メンテナンス基準	○
	②-1 点検の共通ルール	○
	②-2 補修の共通ルール	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	○
	③ 住まいの管理	○
	③-1 住まい管理勉強会の実施	○
	③-2 DIY体験会等の実施	○
	③-3 その他の相談会等の実施	○
	④ 維持管理委員会等の設置	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	○
	③-1 需給計画の策定	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	◎
c	① 新たな技術等の導入	○
	② 新たな技術等の開発	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域優良住宅「収納上手な家」	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地方													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 近畿すまい守りネットワーク	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0422-0597														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	主要構造材の過半数以上に地域材、もしくは合法木材を使用する。 ◎													
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上    ◎													
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> <td rowspan="6">◎</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明														
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 交付申請時、実績報告時に見積書を中心とした資料の提出を義務づけ、事務局で取りまとめる。    ◎													
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ事務局が中心となり、地域材価格に関する情報共有を行う。    ◎													
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:    ◎													
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 80 枚    ○													
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 130 坪    ○													
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 13 枚    ○													
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 26 枚    ○													
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 近畿地方が高湿多湿な地域で有る事を考え、すだれ・よしず・ひさし等の 設置による日射遮蔽を推進する。    ○													
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:    ◎													
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各構成員の地場材を内装・家具等に積極的に活用し、利用促進をはかっている。    ○													
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: OBのお客様との定期的な交流を企画する事で住まいの愛着、意識改善につながる活動を実施する。    ○													
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周囲の町並みに調和した設計配慮をする。 樹木の提案を積極的に行う、生垣等の提案を 提案図面から採用していく。    ○													
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木のぬくもりを感じるインテリア提案を積極的におこなう。    ◎													
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。														
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組														
	平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 地域優良住宅「収納上手な家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 近畿地方
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 近畿すまい守りネットワーク	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0422-0597	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>                     様式3-1に記載するとおり、年間を通して温暖で、特に夏場は蒸し暑く、都市部についてはヒートアイランドによる熱帯夜も多いことから、特に断熱性、通風性、省エネ性、を重視する住宅にしなければいけない。                 </p> <p>                     そのような点からも、本グループにおける「高度省エネ型住宅」については、特に住宅の外皮性能、(断熱材・サッシ・玄関) と省エネ効果の高い住宅設備を採用し、消費エネルギーの少ない住宅を基本とした、認定低炭素、ゼロエネルギー住宅となっています。本グループの地域型住宅は、エネルギー負荷低減を考えた断熱性能に重点を置いた住宅としています。                 </p> <p>                     また、ランクアップ外皮について高性能な窓及び断熱材を採用し、付加断熱なくランクアップ外皮の数値を超えた数値になることを確認でき、実績をつくることで、ノウハウと住まい手の声をグループ全体へつなげていくこととする。                 </p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。